

美しいお花畑を見てください。私の小さなオフィスの窓辺です。  
何処かの偉い方の胡蝶蘭一鉢より、この20鉢の方が安くついています。



ここにある、生き活きとした花の弁、茎、葉は、高価な花よりも比べようも無く美しいです。

コロナ禍で気付いた事は、選良と呼ばれる人々の「倫理観、プライド」の欠如と、まるで仕事が出来ない無能さです。

河野大臣、ワクチン注射で「オタオタ」しないでください。

高校生や大学生が出来る仕事です。恥ずかしくないですか？ 茂木さん、何でミャンマー、イランに乗り込まないのですか？ 中国に、何故、外務省は腰が引けているのですか？

外交の正念場に、立ち上れない大臣、外務省に国民はあきれ果てています。

コロナ禍も大事ですが「悪への罪悪感」を中国共産党は、世界から無くして、世界を暗黒社会に導こうとしています。

世界に誇れる、数多くの中国の哲人、偉人たちは悪業に奔る習政権を嘆いており、友人としての務めを放棄した、我が国政治家、知識人を恩知らずと、評している事でしょう。

コロナ禍以上に民主社会が闘うべき主敵は、この「悪の伝染」ではないでしょうか？

綺麗な、清々しい花々と居ると、民主社会の若者たちが協力して、勇気を持ち、悪との戦いに勝って欲しいと願うばかりです。

19, Feb, 2021 小田兼利